

土砂災害を想定した防災行動計画作成

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

東大阪市

取組内容

生駒山麓地域の土砂災害を想定した市役所内タイムラインを作成

令和5年度に避難判断指標作成に向けたデータ整理を行った。その情報を基にタイムラインステージ移行のトリガーを設定、市役所内の防災に関連のある部署を中心にタイムラインを作成した。



令和5年度の実施イメージ

災害の経過

発災までにやるべきこと

大雨警報(土砂)

土砂災害警戒情報

発災

避難所への職員配備の
調整・指示

土砂災害警戒情報発表までの
雨量は？ 時間は？

避難所開設指示の
タイミングは？

などなど・・・

令和6年度完成したタイムライン表

危機管理室		平時	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	ステージ5	ステージ6
タイムラインステージ		平時	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	ステージ5	ステージ6
行動目標		防災意識を高める	準備	警戒	避難情報発令に向けた準備	早期避難対応	避難対応	応急対策
意思決定			タイムライン立ち上げ	職員配備調整会議開催	職員配備調整会議開催 (避難所開設判断)	「高齢者等避難」発令	「避難指示」発令	「緊急安全確保」発令
トリガー			①大雨注意警報が発表され、かつ、気象台・ウェザーニュース等の情報で総雨量が100mmを超える可能性があるとして判断された場合 ②台風説明会が開催された場合	大雨警報(浸水害)が発表され、かつ、気象台・ウェザーニュース等の情報で総雨量が200mmを超えることが予想された場合	大雨警報(土砂災害)が発表され、かつ、今後さらに50mm以上の降雨があると予想される場合	避難所を開設した場合	①土砂災害警戒情報が発表された場合 ②土砂災害の危険度分布で「危険(高)」となった場合	①土砂災害の発生を確認した場合 ②大雨特別警報(土砂災害)が発表された場合
目安時間			-48時間～-15時間	-10時間	-5時間	-3時間	-2時間	0時間
防災行動	1 地域防災計画の修正		23 大阪管区気象台及びウェザーニュースへ気象予測情報の提供	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	2 市民保護計画の修正		24 災害対策の総括(各委員会に向けた資料調整・作成)	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	3 市民保護会議の開催		25 部局内調整・事務局調整会議の開催	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	4 BCP更新		26 防災情報共有・相互協力を進めるための連絡(総務部・各課等にてメール連絡)	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	5 避難所配備職員の選出を人事に依頼		27 事務局の運営・支援	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	6 災害時応援団、事業者等との協定締結・事前調整等		28 災害対策本部の設置(参事、連絡、資料作成など)	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	7 土砂災害3D都市モデル整備		29 職員配備調整会議の開催及び調整	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	8 防災倉庫整備		30 職員体制の発表	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	9 タイムライン作成		31 ODIS入力	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	10 備蓄物資管理・更新		32 物資の確保	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	11 ハザードマップ作成		33 体制体制の整備	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	12 防災会議の開催		34 避難ルートの確保	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→
	13 委員(防災委員)の委嘱		35 大阪府、協定市町村、近隣	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→	□ 継続→

東部大阪で山麓に市街地を有する自治体を対象に12年間の気象情報を整理した。避難所の開設に向けた準備にはおおむね3時間が必要となる。避難所開設のためのリードタイムを見込むには気象警報のみに拠るだけでは困難であり、大雨警報(土砂)発表から土砂災害警戒情報発表までの経過時間と累積雨量を整理し、避難判断の指標とするための検討を行った。

ハザードマップ検討委員会の委員を対象にグループワークを実施。大阪管区気象台、大阪府河川室、八尾土木事務所を迎え勉強会を行い、地域防災計画から自所属の役割を確認、さらに具体的な防災行動の洗い出し、防災行動を実施するタイミングを定めた。